



地域の未来をみんなで考える

シンポジウム

玉島の未来に

渡り鳥の集う干潟を残したい

～なぜ今干潟なのか～

玉島の身近な海辺の環境のひとつ、『干潟』は豊かな漁場と多くの生きものの命を育んできました。

時代とともに変わりゆく海辺をこれからどう守り、活かし、未来へ繋げていくのか。

基調講演と漁業者の声をヒントに、未来に残したい干潟や湿地の案を一緒に考えていきましょう。

一人ひとりの思いや気づきが海辺の未来を変えていきます。

2025. 11. 1 (土) 13:00～16:00 (受付12:30～)

会場 たまテレホール

(岡山県倉敷市玉島阿賀崎1丁目2-31)

参加無料!

申込要!

定員50名

オンライン  
参加可



今地域に必要で実現可能な干潟(湿地)とは?

基調講演

岡山ならではの干潟の環境再生の可能性

～内海の開発の歴史的転換点に～

九州大学大学院 工学研究院 准教授

清野 聡子氏

3歳で海岸散歩の面白さに目覚め、海の研究者に。専門は海岸・沿岸・流域環境保全学、生態工学。岡山の海辺環境にも詳しい。



主催：たましま 干潟と鳥の会

共催：NPO法人 ラムサール・ネットワーク日本



瀬戸内オリーブ基金  
SETOUCHI OLIVE FOUNDATION

このイベントは認定NPO法人 瀬戸内オリーブ基金の助成により実施しています

川 未来を、みんなで Sustainable Development Goals SDGs 倉敷市・高梁川流域 川

# シンポジウム プログラム

オンラインでの参加も可能です。お申込み時に会場かオンラインをお選び下さい。

**基調講演** 13:10~13:50

岡山ならではの干潟の環境再生の可能性～内海の開発の歴史的転換点に～

九州大学大学院 工学研究院 准教授

**清野 聡子氏**

玉島をはじめ岡山県内の干潟の歴史と価値を知り、再生の可能性のヒントを探ります。

**特別セッション：漁業者の声** 13:50~14:30

白石島の漁業の今と海のこれから

笠岡市漁業協同組合 白石島支所長

白石島新港学術利用協会

**原田 房行氏**

×

**村口 聡氏**

玉島以西の海は今どうなっているのか。現場の生の声に学びます。

**現状報告・未来への提案** 14:30~15:00

玉島の干潟を利用する渡り鳥の現状と未来への提案～なぜ今干潟なのか～

たましま 干潟と鳥の会 代表

**西井 弥生**

シギ・チドリ類のモニタリング調査報告と、玉島ハーバーアイランドの環境アセスメントをもとに未来に残す干潟（湿地）を提案します。

**\*-\*-\*-\* 休憩（質問カードの記入・回収） \*-\*-\*-\***

**パネルディスカッション** 15:15~15:55

**パネリスト**

NPO法人 バードリサーチ 理事

シギ・チドリ類調査事務局

**守屋 年史氏**

NPO法人 南港ウェットランドグループ 理事

**和田 太一氏**

ここからはシンポジストのみなさんと、シギ・チドリ類の研究者 守屋年史氏、干潟のスペシャリスト 和田太一氏にも加わっていただき、実現可能な干潟（湿地）の案を探ります。

お申込はこちら



【お問合せ】

たましま 干潟と鳥の会 事務局

TEL:090-6101-0238

Mail:tamashima.higata@gmail.com

**会場 たまテレホール**

(岡山県倉敷市玉島阿賀崎1丁目2-31)



※駐車場に限りがございます。お車乗り合わせてご来場ください。